

# 指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 29 年度

## 1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町立いなみ野水辺の里公園 (教育政策部 生涯学習課)
指定管理者	NPO 法人 環境ユースイングてんま 代表者氏名 小村 徹
指定管理期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
指定管理委託料	11,555,000 円 (平成 29 年度)

## 2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価	
運営状況	・開館日数・開館時間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・306日 9:00~17:00</li> <li>・設管規則第2条第3条を遵守した運営管理。</li> <li>・繁忙が予想される時期は 対応人数をシフトさせる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な開館日数、開館時間の管理を行なった。季節毎に展示期間を定め様々な学習対応を行なった。</li> </ul>
	・委託事業、自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験イベント、セミナーの実施、環境学習の受け入れ。地域福祉課、連携する NPO 団体とのイベントに対応した協力を実施した。</li> <li>・兵庫大学とのコラボ事業 ①夏祭り企画・運営②我が家のお芋畑セミナーへのボランティア活動。</li> <li>・ホテル育成事業 ホテル飛翔のため、水路等の環境を整え、準備をした。</li> </ul>	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の体験学習の指導や内部で養成した有資格者による事業が実施できた。</li> <li>・県東播磨管内の行政、連携する NPO との日常的な協議を重ねることが、諸事業を実施する際には大きな支えになっている。</li> <li>・人材不足などの課題を解決するため兵庫大学とのコラボが実現した。</li> <li>・ヘドロ除去、水路改修等の環境整備を行ない、カワニナ採取、育成、ホテル幼虫の放流など実施して次年度の観賞に向け確実な準備を行なった。</li> </ul>
	・利用者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園 20 周年(平成 27 年度)記念行事以降、イベント・セミナー：夏祭り、夏休み工作教室などの参加者が増えた。(29 年度も維持)</li> <li>・就学前保育のための公園利用、家族連れの子供探集、魚とり、木の実拾いなど多彩に自然を活用するための使用が増えてきている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な運営事業の参加者募集時には即定員超えの状況である。</li> <li>・特に、幼児の園内利用は、ほほえましい限りである。そういった来園者のため園内の安全対応には心配りが重要と考えている。</li> </ul>
	・その他(特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携事業：ため池ミュージアム事業に位置付けた「環境啓発事業」で外来種駆除を取り上げ、専門講師に支援を得て実施した。(夏祭り開催時に実施)</li> </ul>	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記事業は、県東播磨県民局、ため池協議会、町行政、NPO 団体、あるいは専門講師と諸々協議を重ねながら取り組んだことで当法人としては地域連携、協働の事業について相当の</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉課コスモス児童館と協働した「親子のつどい」を実施した。</li> <li>・東播磨地区 NPO 団体と連携し、福島で被災した厳しい環境が続く約20名の小学生を受け入れた。(3年目)</li> <li>・東播磨ビジョン委員会事業協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>①東播磨文化施設ネットワーク化発足 ネットワーク会議を4回重ね、12月には「文化施設大集合」イベントを実施</li> <li>②子ども観光大使 天満神社の歴史や町指定文化財の天神曼荼羅見学をサポートした。</li> </ul> </li> </ul>		<p>ポテンシャルを得た、と感じている。これらの実績評価を踏まえつつ、ここ数年の来園者の方々からのアンケートを分析することにより当法人のいい面悪い面を浮かび上がらせていく必要があり、次年度以降の「事業計画」に反映させる必要があると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東播磨文化施設ネットワーク化事業に於いて他施設とのつながりが深まった。また、子ども観光大使においても地域の天満神社ともコラボができ、歴史について子どもたちに興味を持てるように工夫した。</li> </ul>
施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃</li> <li>・植栽等管理</li> <li>・警備</li> <li>・設備保守</li> <li>・修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃、警備の委託先との密接な連絡による管理。</li> <li>・植栽管理は、シルバー人材センターの期間満了を機に直営に切り替え、季節に応じた花壇を整備した。エントランス花壇は専門家の視度により配置や季節感を工夫した。</li> <li>・保守、修繕は、日常点検を詳細に行い、早めの対応を実施。(園内道路、看板等)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内整備は、セミナーに対応しながら年間計画を立て、草木の剪定を実施した。</li> <li>・学習棟をはじめ、園内各施設の点検は、安全管理の面から重要事項と考えている。</li> <li>・エントランス花壇は、来園者の目を楽ませる効果があった。</li> <li>・草刈などは、生きものの生育に考慮し、子どもが昆虫採集などで楽しめるように管理維持した。</li> </ul>
	・その他(特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町施工の深井戸改修により、水量が増え、水路を最大限有効に活用できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水生の生きものが増加し、環境学習などの充実が図られた。さらに充実させたい。</li> </ul>
利用状況	・利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・48,829人/年 (実働306日)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族連れが増加。様々な年代の来園者が増えた。</li> </ul>
	・施設稼働率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・160人/日</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・催物の開催により、新たな来園者を開拓した。</li> </ul>
収支状況	・収支計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事業が増加傾向にあり、充当する費用捻出に苦慮している。</li> <li>・各種助成金の案内に対しては積極的に申請している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各費目の予算は、月次単位にて管理している。</li> <li>・合せて、財務体質の改善を考え、維持修繕費にも充当させる必要がある。</li> </ul>
	・経費削減の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員それぞれの強みを活かし、できるものは社員で対応した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐材の利用や、地元各団体、サポーターの協力で各種事業を実施。</li> </ul>
運営体制	・人員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営事業ならびに公園の季節状況にあわせた適正な人員を配置した</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況に合わせた臨機応変な人員配置に努めた。</li> </ul>
	・危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯、景観に留意した伐採、体制の強化の実施。</li> <li>・スズメバチなどの害虫対応のため、日常点検および来園者からの情報提供の呼びかけをした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理体制の充実。災害を想定した点検と勤務対応を心がける。</li> <li>・来園者の安全を第一とした管理が必要と認識している。</li> </ul>

	・苦情要望等への対応	・苦情に対して、早急対応、所轄課への適宜な報告。	A	・施設管理と自然調和ならびに運営事業の理念に基づき対応している。
	・個人情報の保護及び情報公開	・コンプライアンスの事例による周知。情報公開への確認。	A	・公園だよりやブログ、写真掲載などに対し、許諾を必須条件としている。
	・その他（特記事項）	・地域との協働による管理。 ・さかなのおうちの安定した管理。 ・チョウや公園の自然に関する地元メディアへの情報発信。 ・ラジオ関西（西條遊児のぶらりぶらり歩き）で紹介	A	・サポーターの方による標本の整備、園内のチョウの生態調査の実施。 ・BANBAN-TV やラジオ関西での取材を受け公園の情報発信ができた。
			総合評価	A 東播磨地区各種団体などとの協働を生かし、来園者の方のための公園管理と運営事業の充実を図った。

### 3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

次年度のホタル観賞に向けた取り組みとして、水路周辺の整備、ホタルの幼虫放流、カワニナ採取等の環境整備を行うなど積極的に事業を展開しており、今後、新たな利用者の開拓や、リピーターの確保が期待できる。

施設の維持管理は、協定書等に基づき適正に行われており、季節の移り変わりを反映した講座実施に向けて、地域のボランティアやサポーターとともに準備を行うことにより、経費の節減、地域との協働を図っている。

町内外の幼稚園や小学校を始めとする園児・児童の見学の受け入れだけでなく、県主催の事業の講師なども担当し、自然の姿を再現した公園のPRをしつつ、環境教育の一端を担った。

今後も水辺の里公園の名にふさわしく自然に親しむことのできる公園の魅力をさらに向上させつつ、より多くの住民の憩いの場となるように切に期待する。

### 4 内部検討委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。

地域団体と連携したイベントや新規事業にも積極的に取り組んでいる点やホタルの育成についての取り組みを新たに展開し、利用者の開拓に努めている点は評価できる。引き続き施設が良好な状態に保たれるよう維持、管理に努め、来園者のニーズに応じた魅力的なイベント等の開催により、さらなる利用者の増加に努められたい。

アンケートの結果から、利用者の高い満足度を得ていることは評価できる。今後とも持続可能な運営体制を確保されたい。

### 5 外部検討委員会による評価

総合評価	
------	--